

公民館並びに小学校の 統廃合について

H25.11.13



習志野市
財政部 資産管理室
資産管理課


最も大切なこと

■ 統廃合は目的ではなく効率化のための手段の一つ

- 全ての施設を更新することはできません。
- 現状を維持していくのにも、老朽化対策に費用はかかります。
- そのような状況下においても、市民ニーズに答え、良質な生活環境を維持していくには、本当に必要なものを選択して実施する必要があります。

■ 公共施設再生計画について基本的な考え方

- 現状からの推計により判断すると、人口構成が変化する中で、機能を維持しつつ、保有総量を適正化するために、統廃合は避けられません。
- 先のことを完全に予言することはできませんが、予測を立てて、みんなで議論していくことは必要です。
- 再開発が行われるなど状況が変われば、計画は柔軟に見直します。

習志野市公共施設再生計画 3 

平成26(2014)年 から 平成31(2019)年	平成32(2020)年 から 平成37(2025)年	平成38(2026)年 から 平成50(2038)年
----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------

基本構想・基本計画（市の総合的な計画）

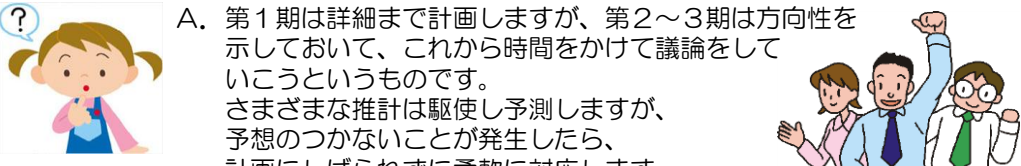
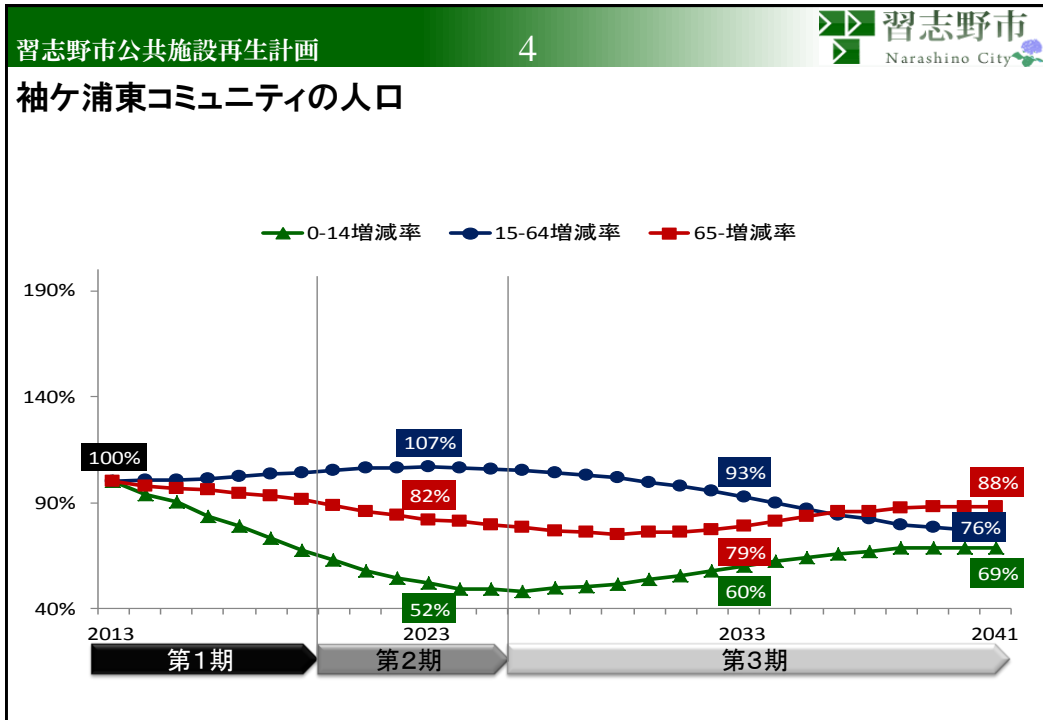
前期 → 後期

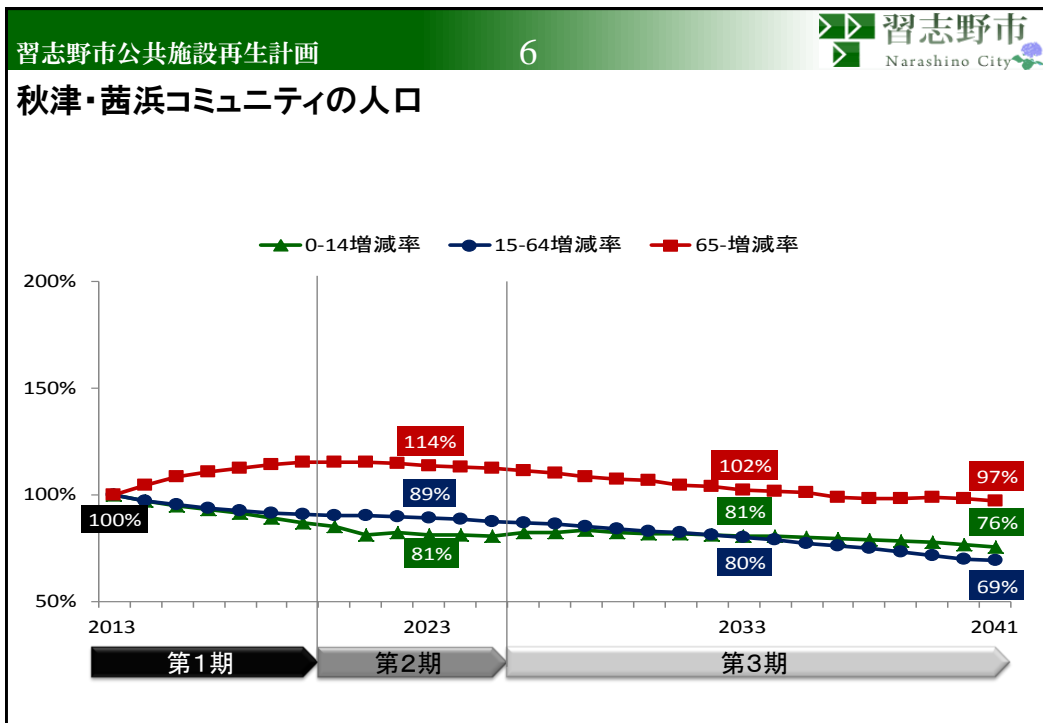
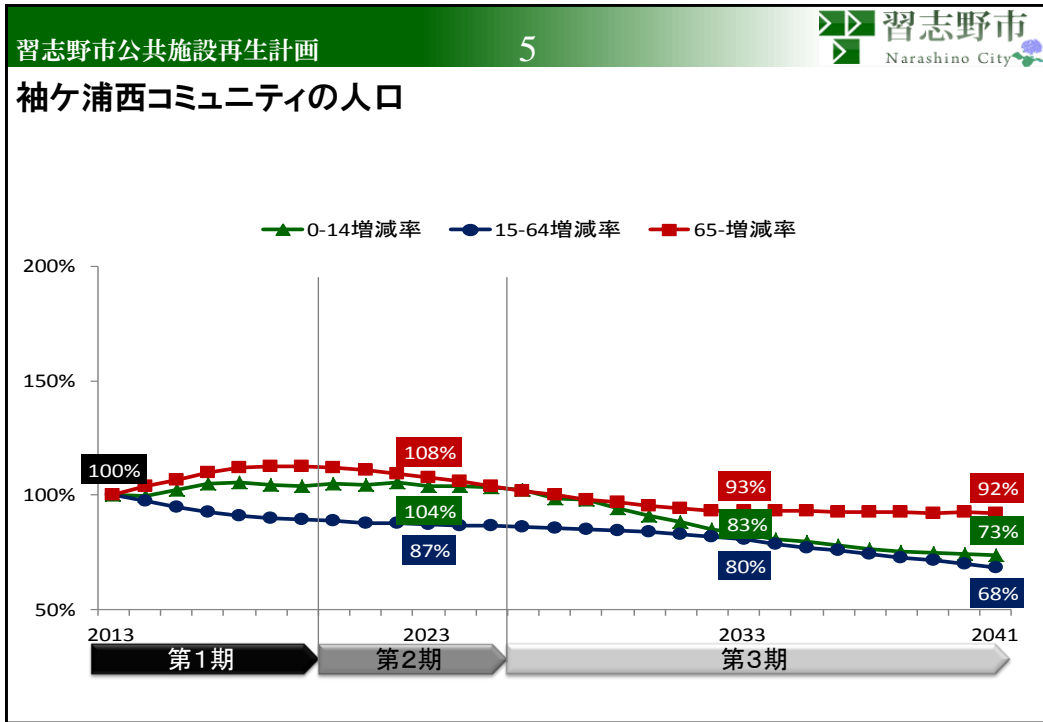
公共施設再生計画

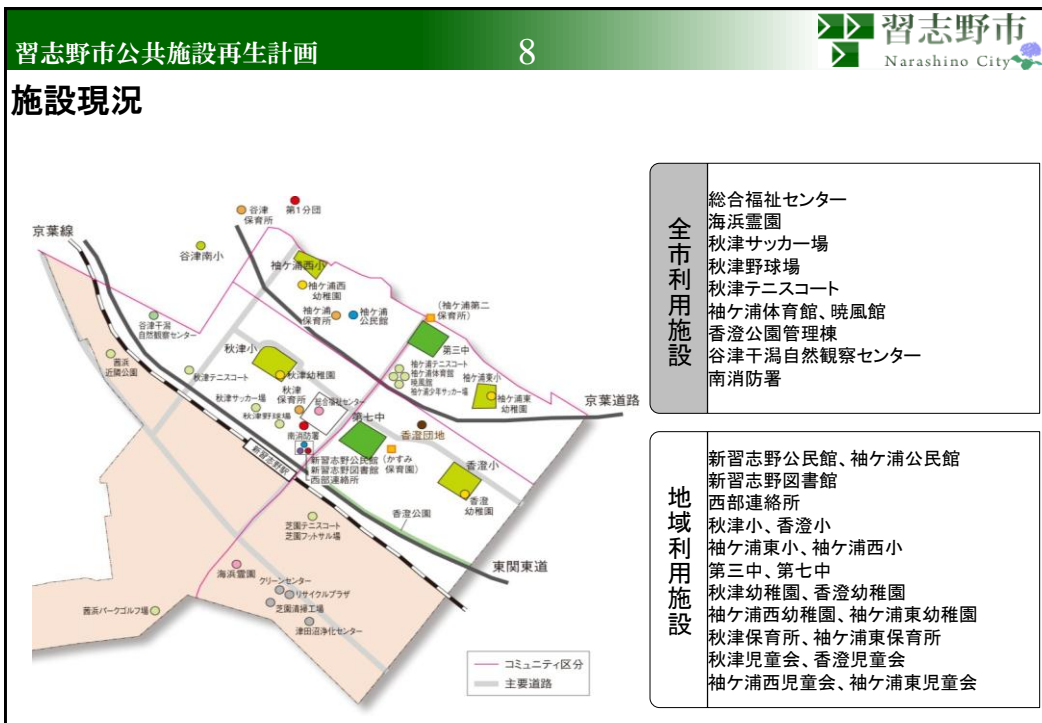
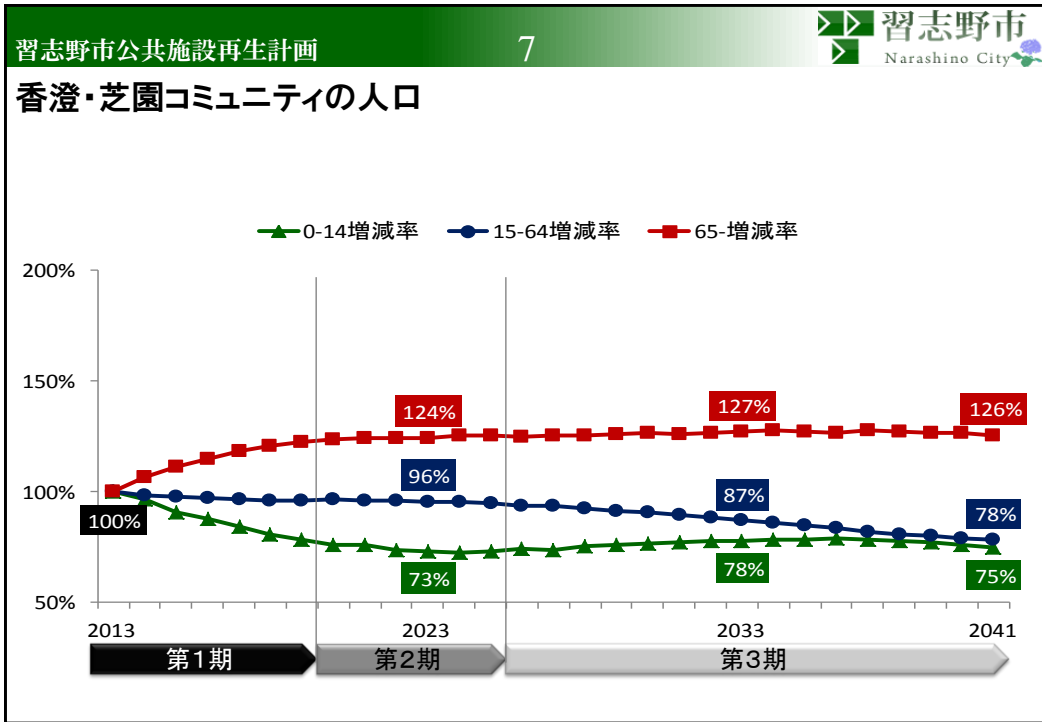
第1期	第2期	第3期
詳細な内容	見直しの可能性あり	検討の時期を目途

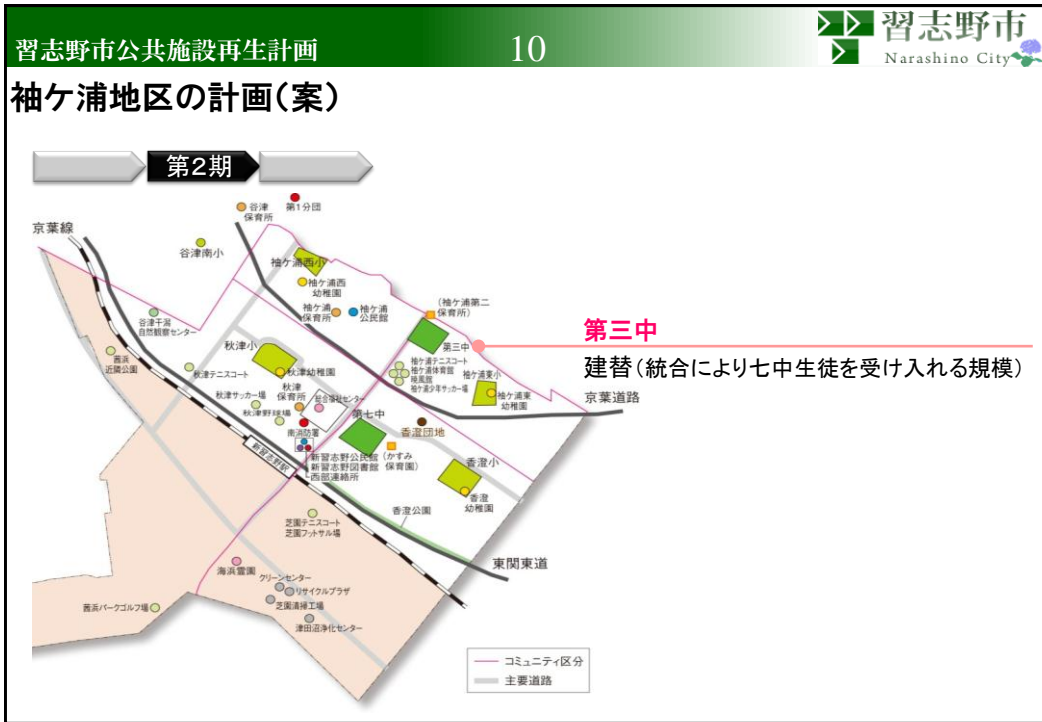
Q. そんな先のことまで、決められるの？
予測していなかったことが発生したら…？

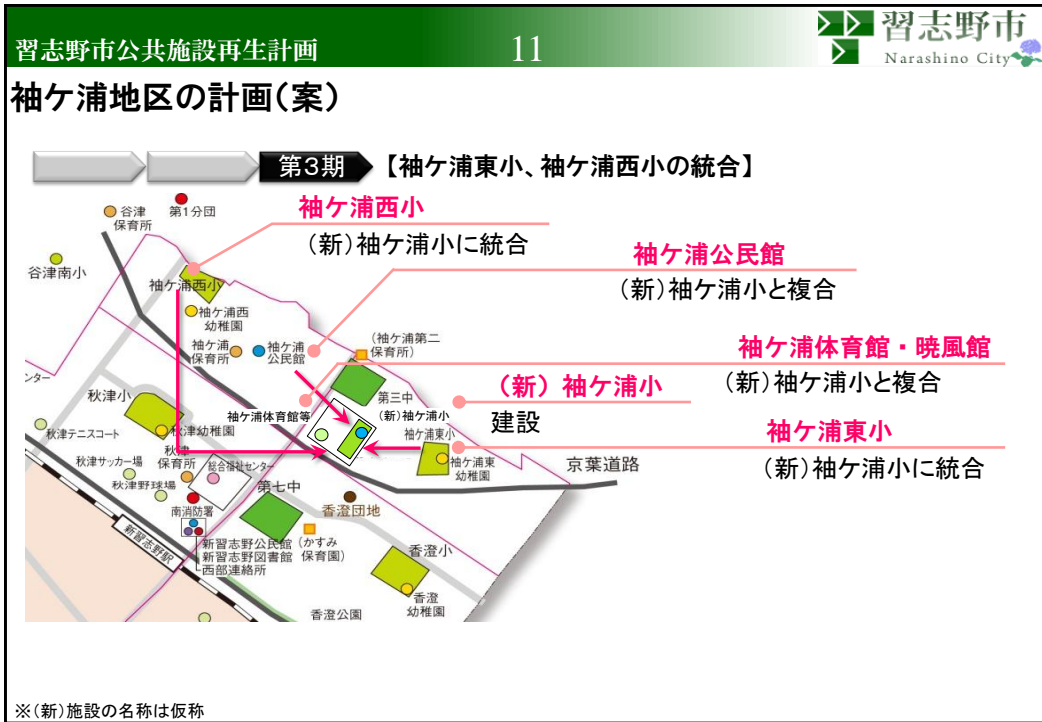
A. 第1期は詳細まで計画しますが、第2～3期は方向性を示しておいて、これから時間をかけて議論をしていこうというものです。
さまざまな推計は駆使し予測しますが、予想のつかないことが発生したら、計画にしばられずに柔軟に対応します。









 お問い合わせは・・・

習志野市役所 資産管理課
仮庁舎(京成津田沼駅前ビル)2階



電話:047-453-7365

メール:zaikan@city.narashino.lg.jp